

インド人記者の見た対印事業展開の現状と課題

インディアン・エクスプレス編集委員との懇談会を開催

開催日 : 2019年11月28日(木)

場所 : 経団連会館

来賓 : アニル・サシ インディアン・エクスプレス 編集委員

経済広報センターでは、会員の対印理解や日印関係強化に寄与するためのさまざまな事業を実施している。その一環として11月28日、インドの主要英字全国紙であるインディアン・エクスプレス紙のアニル・サシ編集委員を迎えた懇談会を開催し、約40名の会員が出席した。

サシ氏は、現地の日系自動車メーカーでの勤務経験もあるジャーナリストで日本的感覚も持ち合わせており、インド社会で中国や韓国の存在感が増している現状においても、インド国民の多くが日本ブランドの製品や技術の質の高さを信頼し、愛着を抱いていると指摘した。他方、多くの日本企業にとってインド進出前の市場調査や展開からの地元社会とのコミュニケーション、さらには非常時の危機管理などに改善の余地が大きいとも述べ、日印双方が互いの文化や考え方の違いを理解することが肝要だと訴えた。



また、サシ氏は、近年急速に成長しているインド系スタートアップの特徴や最新動向についても紹介し、わが国経済界がインドに一層の関心を持ち、対印直接投資を増やし事業連携を強化することへの期待を示した。

以上